

平成24年第3回臨時会

企画産業常任委員会
会 議 録

期日：平成24年7月31日（火）

場所：大仙市役所3階 議会応接室

大仙市議会企画産業常任委員会会議録

日 時

平成24年7月31日（火曜日） 午前10時13分 ～ 午前10時27分

会 場

大仙市役所 3階 議会応接室

出席議員（7人）

3番 後藤 健 5番 藤井 春雄 7番 茂木 隆
8番 小山 緑郎 13番 金谷 道男 18番 佐藤 芳雄
27番 武田 隆

欠席議員（0人）

なし

説明のため出席した者

農林商工部長 高橋 豊幸 農林商工部次長兼農林振興課長 木村 喜代美
農林商工部商工観光課長 五十嵐 秀美 農林商工部商工観光課参事 今 善雄

議会事務局職員出席者

主 査 佐藤 和人

第 1 議案第136号 平成24年度大仙市一般会計補正予算（第3号）

午前10時13分 開 会

○委員長（茂木 隆） おはようございます。

本日は、本会議休憩中の大変お疲れのところをお集まり頂きまして、ありがとうございます。当委員会7月の10日から12日にかけて委員の皆様、そして高橋部長からもご同行いただきまして、岐阜県と愛知県に行政視察を行い、大変勉強になりました。み

なさん方から貴重なご意見をいただきまして、これからの市政に活かしていければというふうに考えております。この7月は九州北部でも大変な豪雨ということで非常な被害が甚大であったようであります。そういう中で秋田県は本県の場合は大雨もなかったし、そういう面では一昨年、昨年との豪雨と比べれば今のところ非常に農作物も順調に生育しているというふうに思いますけれども、このところの暑さがまたしばらく続くような予想でありますので、どうぞみなさんお体の方には気を付けて議会活動あるいは職務に頑張ってくださいというふうに思います。

それでは只今から、企画産業常任委員会を開会いたします。

○委員長（茂木 隆） 本日の当委員会に付託されました事件は、補正予算案1件であります。

正確な会議録作成のため、発言の際はマイクのスイッチを入れてからお願いいたします。

○委員長（茂木 隆） 議案第136号「平成24年度大仙市一般会計補正予算（第3号）」を議題といたします。

それでは、当局の説明を求めます。五十嵐商工観光課長。

○商工観光課長（五十嵐秀美） 議案第136号「平成24年度大仙市一般会計補正予算（第3号）」のうち、商工観光課所管の補正予算につきましてご説明申し上げます。

資料No.2、補正予算書（7月補正）7ページ、資料No.2-1「主な事業説明書」に基づきましてご説明申し上げますので、「主な事業説明書」1ページをご覧くださいと存じます。

はじめに、6款1項7目25事業「就業改善センター管理事業」につきましては、348万円の補正をお願いするものであり、補正後の額が387万4千円となるものであります。

事業の概要につきましては、中里温泉源泉水中ポンプ交換工事であります。

水中ポンプの故障及び発見については、源泉の揚湯管のスケール除去のため、揚湯管及び水中ポンプを引き上げた際に、水中ポンプモーターの絶縁抵抗値を測定した結果、三相のうち一相が極端に低下しており、モーター内部、コイルの損傷が考えられると、スケール除去工事の施工業者から報告を受けまして、今後の対応策として、現状ではた

だちに作動しなくなるものではないが、どれくらいの期間作動し続けるのかは不明であり、中里温泉の営業に支障を来さないため、水中ポンプを交換するものであります。

今後の方向性については、既存ポンプは平成20年度に設置されたものであり、施工業者の見解によれば、源泉の泉質にもよりますが、5年程度で故障が見受けられる傾向にあるとのことであります。今後は、予備ポンプの導入も視野に入れ検討して参りたいと考えております。

次に予算書8ページ、「主な事業説明書」2ページをご覧いただきたいと存じます。

7款1項4目52事業「被災地開催花火大会支援事業費」につきましては、60万円の補正お願いするものであります。

事業の目的については、昨年発生いたしました東日本大震災により亡くなられた方々を追悼し、被災地の復興に懸命に取り組んでいる方々へ、大いに希望を与えるため、被災地で開催される2花火大会を支援するものであります。

事業の概要については、宮古市と釜石市で開催される花火大会が、復興と希望への思いを込めた大会になるよう、大曲商工会議所へ費用の一部を交付し、全国花火競技大会実行委員会とともに支援するものであります。開催日及び支援額については、両市に30万円づつとし、釜石市が8月11日、宮古市が8月14日となっております。

今後の方向性については、昨年度、被災地に希望を届けようと、宮城県及び岩手県3市において開催された花火大会を支援いたしましたが、今年度は、大曲商工会議所へ支援要請があった宮古市・釜石市の大会を支援するものでございます。被災地の花火大会支援は、今年度で終了するものと考えております。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（茂木 隆） 説明が終了いたしました。

これより質疑を行います。質疑のある方はどうぞお願いします。はい、金谷委員。

○13番（金谷道男） 確認ですが、中里温泉のポンプの交換ですが、この説明書によれば平成20年に交換しているという内容で、多分ポンプっていうのは、ある程度耐用年数がどのくらい使えるとか、その時点で契約するときどのくらいの保証があるものなのか、そこら辺はどのようになっているのでしょうか。

○委員長（茂木 隆） はい、五十嵐課長。

○証拠観光課長（五十嵐秀美） 水中ポンプの保証については、泉質によって違うので保証期

間というのは明記されたものがないと伺っております。このあとの全員協議会でも部長の方から水中ポンプについて説明申し上げますが、長い物であれば20年も持っているものもあるし、泉質によってスケールのつきやすいものが5年ぐらいで寿命に来ている場合もあるので何とも言えないという業者の見解でありました。

○委員長（茂木 隆） はい、金谷委員。

○13番（金谷道男） 午後に嶽の湯の関係で説明の時またあるかもしれませんが、いずれ各町村に行政で主導して、その時の行政需要があって、温泉をみんな持っている。そのときにやっぱり地域の雇用とか人の流れをつくる観光の側面を持ちながら、それぞれの町村でいろんな財源を使ってやってきたと思うんです。そのことは合併しても、それが必要だったという理由はなんも消えていないと思う。それが前提にあつての話なんだけど、必要があつてある施設なので定期的にこういうことが起こり得ることをみんなで共通理解しておかないと、またかまたかという話になって、これって装置作業で、このものがないと成り立たない施設ですので、定期的にこういうことがあるとすれば、ここの温泉なば何年くらいって、たぶんあると思うんですよ。それから業者の方でもこの泉質だばどうどがあつて当然あるはずなんだな。そこらへんのところを契約するときでも発注するときでもある程度詰めた方がいいんでないかと、それから管理する人もこの温泉はこういうスケールがこういう具合につくんだよ、ここ注意しねば駄目なんだよというようなこと、全部一緒にないはずなんですよ。そのところをしっかり捉まえていてもらってやってほしいなと、ほかの温泉のことも含めて、それこそ総合計画みたいな中できっちり位置づけしていくというやり方がこれから私は必要でないのかなとすごく思いますので是非、総合計画の中にそれを定期的にやらねば駄目だということを前提にこの施設をやっていくという話に私はしてほしいし、それが総合計画なのかなと思います。是非お願いします。

○委員長（金谷道男） はい、五十嵐課長。

○商工観光課長（五十嵐秀美） まさに我々もこのポンプについては実施年度、交換なり、オーバーホールする年度を示したいなというところで、午後からの分に一覧表でお示しして部長の方から、今後の予定なり方向性についてご説明申し上げたいと思いますので、そちらの方の資料で説明をお願いいたします。

○委員長（茂木 隆） はい、よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（茂木 隆） なければ質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(茂木 隆) 討論なしと認めます。

それではお諮りいたします。本件につきましては原案のとおり可決することにご異議
ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(茂木 隆) ご異議なしと認め、本件は原案のとおり可決すべきものと決しま
した。

○委員長(茂木 隆) 以上で、当委員会に付託になりました事件の審査はすべて終了いた
しました。

なお、本委員会の審査報告書および委員長報告の案分につきましては委員長にご一任
願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(茂木 隆) ご異議なしと認め、そのように決しました。

これで企画産業常任委員会を閉会いたします。

大変ご苦勞さまでした。

午前10時27分 閉 会

委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

平成24年 月 日

企画産業常任委員会委員長 茂 木 隆